

## CNG 充てん所の併設可否における各国の法令・基準概要

## 海外調査及び比較

国・地域	区分	法令・技術基準	併設可否			規定の有無		
			併設	給油エリア共有	マルチ ディスペン サー (MD)	ディスペン サー間距離	防 爆 範 囲	緊急離 脱装置
イギリス	CNG 充てん所	IGEM	○	○	○	なし (※2)	○	要
	給油所	APEA / EI 2011						推奨
ドイツ	CNG 充てん所	GVDW G651 VdTUEV	○	○	○	なし (※2)	○	要
	給油所	TRbF40						要
イタリア	CNG 充てん所	DM 14/3/31	○	△ (MDの み可)	○	8m (※3)	○	要
	給油所	-						-
フランス	CNG 充てん所	Arrette 07/01/03 No.1413	○	○※1	-	1m	○	要
	給油所	Arrette 07/01/03 No.1435						要
スイス	CNG 充てん所	SVGW G9	○	○	○	0.2m (※4)	○	要
	給油所	Handbook of technical rules for fuel station						-
オランダ	CNG 充てん所	PGS 25	○	○	-	なし (※2)	○	要
	給油所	PGS 28						-
アメリカ	CNG 充てん所	NFPA52 / 30A 及び NY 消防規則	○	○	-	1.5m (※5)	○	要
	給油所	NFPA 30A						要 (ガソリン・ 軽油)
日本	CNG 充てん所	高圧ガス保安法	○	×	-	給油空地及び 注油空地外 (※6)	○	要
	給油所	消防法						要 (セルフ)

※1 漏洩した引火性液体燃料がCNG ディスペンサーの下部に流れ込まないように床面の措置が必要、かつ、ディスペンサー間に1mのアクセス可能なスペースが必要

※2 ディスペンサー間の最少離隔距離は規定されていないが、各ディスペンサーの防爆範囲の遵守が求められる

※3 MDを設置する場合は適用外

※4 MDを設置する場合で、金属遮蔽板やケーシングの設置

※5 ガソリン用ディスペンサーとCNG用ディスペンサーの防爆範囲の差異にもとづく

※6 給油空地等においてガスの充てんを行うことができない場所

## 【ポイント】

- CNG ディスペンサーとガソリン等用固定給油設備の併設、給油空地の共有はほぼ全ての国で認められている。
- CNG ディスペンサーとガソリン等用固定給油設備の距離は、防爆範囲から設定されている場合が多い。
- 緊急離脱カプラについては、CNG ディスペンサーについては全ての国で必要で、ガソリン等用固定給油設備には必要な場合が多い。